

(Translation)

Case: Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 175091/1983

Title: Correcting Implement for Holding Writing Means

Applicant: Norio KIKUKAWA, Japan

Claims:

1. A correcting implement for holding a writing means, comprising:
 - a tubular body to be outwardly fitted on a writing means such as a pencil; and
 - a holding part integrally formed with the tubular body on an outer periphery thereof; wherein
 - first to third recessed portions are formed in an outer surface of the holding part at substantially equal angles, each for positioning a thumb, an index finger, and a middle finger;
 - each of the first and second recessed portions is tapered from a front end of the recess toward a rear end thereof; and
 - the third recessed portion has a U-shaped groove extending perpendicularly to an axis of the tubular body.
 2. The correcting implement for holding a writing means according to claim 1, wherein
 - the tubular body is formed of a tube member of a resilient material such as soft plastics or rubber.
 3. The correcting implement for holding a writing means according to claim 1, wherein
 - the tubular body and the holding part are made of a resilient material such as soft plastics or rubber.

BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和 58—175091

49 日本国特許庁 (JP)

11 實用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—175091

51 Int. Cl.²
B 43 K 23/02

識別記号

厅内整理番号
6961—2C

43 公開 昭和58年(1983)11月22日

審査請求 有

(全 頁)

54 筆記具懸持矯正具

宝塚市仁川高丸1丁目15の8

11出願人 菊川起男

宝塚市仁川高丸1丁目15の8

21実願 昭57-70962

74代理人 弁理士 溝脇忠司

22出願 昭57(1982)5月14日

72考案者 菊川起男

明細書

1. 考案の名称

筆記具保持矯正具

2. 実用新案登録請求の範囲

5 1. 鉛筆などの筆記具に外嵌着するための筒状部と、この筒状部の外周に一体に設けられた保持部とを備え、保持部の外周における略等角度起きの三箇所に、親指、人差指および中指をそれぞれ位置決めするための凹陥部が形成され。これらのうち、親指および人差指位置決め用の各凹陥部は、その前端部が最も深く、これに連続して後端部に近付くほど次第に浅くなるように構成され。中指位置決め用の凹陥部は、上記筒状部の軸線に対して交叉する方向に延びるU溝状に構成された筆記具保持矯正具。

10 2. 筒状部が、軟質プラスチックやゴムなどの弾性部材からなるチューブ体によつて構成されている実用新案登録請求の範囲第ノ項記載の筆記具保持矯正具。

15 20



3. 筆状部および保持部が軟質プラスチックやゴムなどの弾性部材にて構成されている実用新案登録請求の範囲第1項記載の筆記具保持矯正具。

5 3. 考案の詳細な説明

この考案は、鉛筆やボールペンなどの筆記具を正しい状態で保持させるために、これらの筆記具における軸部に装着して使用される筆記具保持矯正具に関するものである。

10 周知のように、筆記具を持つ場合、筆記具の軸部における開方向上半部を親指および人差指の各先端腹部で軽くはさみ、中指の先端脇腹部でその下半部を軽く支持しておくのが正しい持ち方とされている。このような正しい持ち方を幼児や学童に口頭で教えることはなかなか困難であり、大人が手本を示しても、その場では正しい持ち方をするか、文字や線をかくことに夢中になると次第にその持ち方が乱れ、それにつれて姿勢が悪くなつてくる。また、筆記具を正しく持つことによつて20 文字の上達が速くなることは良く知られていると

ころである。

一方、筆記具で文字を書く場合、筆記具を軽く持つっていても指先がその軸部に対してすべらず、また、筆記具の中心がその握持部付近にあり、さらにも、その握持部がある程度太くなっていることが長時間にわたって楽に筆記するためには必要であることは、日常、よく経験されるところである。

このような事情から、従来、ボールペンやシャープペンシルなどでは、その握持部を他のよりもわずかに太くし、その部分に無数の引摺状のきずや環状の凹凸部を形成したり、あるいはその握持部にゴム素材などによつて製作されたチューブ体からなる筆記具用すべり止め具を外嵌着することが試みられている。

しかしながら、このような従来のものでは、握持部をある程度太くし、軽く持つてもすべらないようになると、筆記具の持ち方を矯正したり、その重心を筆記具の握持部付近に位置させることはできない。そのため、従来のものは、もつばら、大人専用具として利用されているのが

現状である。

この考案は、以上の事情に鑑みてなされたものである。

すなわち、この考案は、鉛筆などの筆記具に外
10 飾着される筒状部と一体に形成された握持部の外
面において、その略等角度おきの三箇所に、親指、
人差指および中指をそれぞれ位置決めするための
凹陥部を一定の特殊な形状のものとして構成する
ことによつて、幼児や学童に筆記具の正しい持ち
方を容易に習得させることができる上、文字の上
達も速く、また、長時間にわたつて楽に筆記する
ことができるような利点をもつた筆記具握持矯正
具を提供することを目的とするものである。

つぎに、この考案を図示した実施例にしたがつ
15 て説明する。

第1図～第3図において、鉛筆などの筆記具A
に外飾着された握持矯正具Bは、軟質プラスチック
やコムなどの弾性部材によつて構成された筒状
部1とその外周に一体に設けられた握持部2とか
20 じある。これら筒状部1と握持部2とは別体とし



て構成されたものを相互に相嵌着して一体としても、あるいは、両者を一体成形したものでも良い。すなわち、前者は、第6図に示されるように、前後両端に鋼部1a,1bを備えたチューブ体によつて5 上記筒状部2を構成し、このチューブ体の外周で、かつ、鋼部1a,1b間に拘持部2を外嵌着し、これによつて両者を一体化したものである。また、後者は、第7図に示されるように、筒状部1と拘持部2とを一体形成して、その中心部分に筆記具Aの嵌着孔3を形成させたものである。
10

つぎに、第1図～第3図から明らかにように、拘持部2は全体として円筒状ないし三角筒状をなすものであつて、その外面における略等角度おきの三箇所にそれぞれ凹陥部4,5,6が形成される。15 これらはそれぞれ親指p、人差指mおよび中指cの各位置決め用として作用するものであり、そのうち、親指位置決め用凹陥部4および人差指位置決め用凹陥部5は、第2図、第4図および第8図に示されるように、上記筒状部1の軸線Xに沿う20 方向に長いものとして形成されている。そして、



それらの前端部が最も極んだ形態とされ。この最深部 4a, 5a に連続して後端部 4b, 5b に近くほど次第に浅くなるように構成されるとともに、これらの二つの凹陥部 4, 5 は、略三角筒状保持部 2 の二面においてそれぞれその対角線に沿うように形成されている。これに対し、中指位置決め用凹陥部 6 は第 1 図、第 3 図および第 5 図～第 7 図から明らかなる。上記軸線 X に対して直角に近い角度で交叉する方向に延びる U 溝状のものとして構成され、上記した二つの凹陥部 4, 5 における各最深部 4a, 5a に対応した位置に形成される。

以上説明した保持矯正具 B は、その筒状部 1 を介して、筆記具 A における軸部 A1 に嵌脱自在である。すなわち、筒状部 1 および保持部 2 のうち、少なくとも筒状部 1 は、軟質プラスチックやゴムなどの弾性部材によって構成されているため、その筒状部 1 の内径を筆記具 A における軸部 A1 の外径よりも稍々小さくなるように設定しておけば、その嵌脱状態にあつては、その弾性による挾着力によつて、上記軸部 A1 の所望の位置でこれが外嵌



着される。また、軸部A1に外嵌着されているものを引き抜くことも自由である。

第8図に、掲持矯正具Bを筆記具Aにおける軸部A1に外嵌着し、これを、手で正しく持つた状態が概略的に示されている。すなわち、正しい持ち方では、親指pおよび人差指mでそれぞれの位置決め用凹陥部4,5が挟まれ、中指nがその位置決め用凹陥部6に軽く当てがわれる。さらに静しくは、親指pの先端腹部がその位置決め用凹陥部4の最深部4aに当てがわれ、また、人差指mの先端腹部がその位置決め用凹陥部5の最深部5aに当てがわれ、さらに、中指nの脇腹部がその位置決め用凹陥部6に当てがわれる。この状態は第4図および第5図に示される。

この掲持矯正具Bを介して筆記具Aを持つ場合、上記の持ち方によればその状態が安定し、正しい姿勢で長時間、楽に筆記することができる。しかし、上記以外の持ち方では、親指p、人差指mおよび中指nが各凹陥部4,5,6によつて正しく位置決めされないため、各凹陥部4相互間の稜部7,8



8 (第1図参照) がこれらの指に当たることになり、持ち方が安定しないばかりでなく、指が痛くなる。したがつて、筆記者は、自然に上記した正しい持ち方で筆記具Aを持つのである。

9 また、このような握持矯正具Bを筆記具Aに装着することにより、その分だけ握持位置の太さが太くなるために持ちやすくなる上、その大きさによつて筆記具Aの重心が握持位置に移り、長時間の筆記によつても疲れない。

10 つぎに、握持矯正具Bはその筒状部1が軟質プラスチックやゴムなどの弾性部材からなるチューブ体によつて構成されているため、第1図に示すように、軸部A1が円形の場合であつても、あるいは第9図に示すように、軸部A1が六角形状をなすものの場合であつても、良好な嵌着状態が得られるので、その汎用性に富むものである。

15 以上の説明から明らかに、この考案によれば、握持部に形成された三つの凹陥部によつて、親指、人差指および中指が正しい状態で位置決めされ、それ以外の状態では持ち方が安定しないた



め、幼児や学童は自然に正しい持ち方で筆記具を持つようになり、長時間続けて筆記しても余り疲れない。また、筆記具における軸部の太さか、この細持筆正具を装着することによって太くなり。

5 重心がその位置に設定されるので、書きやすい状態となる。

10 このように、この考案の細持筆正具は、幼児や学童に正しい筆記具の持ち方を習得させるのにきわめて有益であり、また、大人にとつても長時間筆記しても疲れないという利点がある。

4. 図面の簡単な説明

15 図面はこの考案の実施例による細持筆正具を示したものであり、第1図は拡大した縦断面図、第2図は第1図の矢印a方向からみた斜視図、第3図は第1図の矢印b方向からみた斜視図、第4図は親指または人差指位置決め用凹陥部を示す半断面図、第5図は中指位置決め用の凹陥部を示す半断面図、第6図および第7図はそれぞれ相異なる部分を示す縦断側面図、第8図は筆記具を持つた20 状態の斜視図、第9図は形状の異なる筆記具に装



着した場合の横断面図である。

A…筆記具、A1…筆記具の軸部、B…保持矯正具、1…筒状部、2…保持部、4…親指位置決め用凹陥部、5…人差指位置決め用凹陥部、6…中指位置決め用凹陥部、p…親指、m…人差指、c…中指。

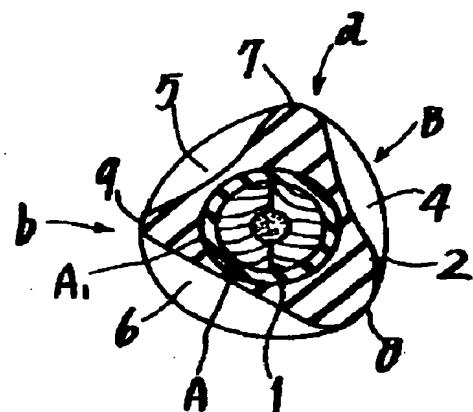
出願人 菊川起男
代理人 游盛忠司

10

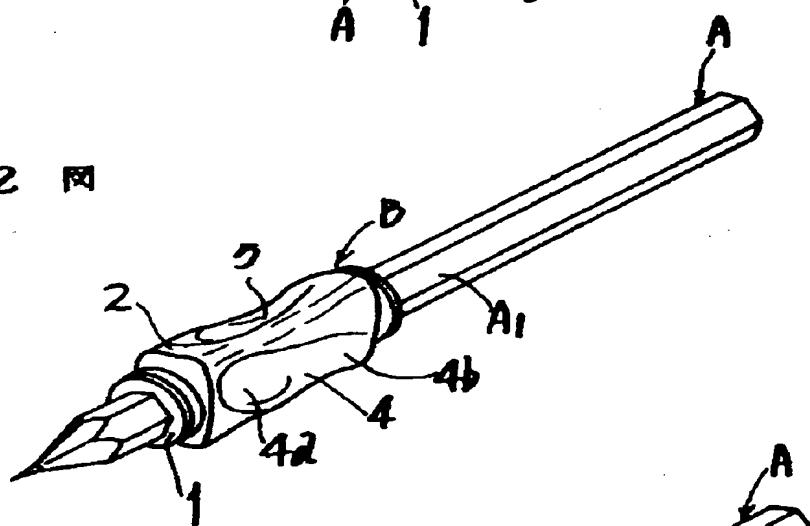
15

20

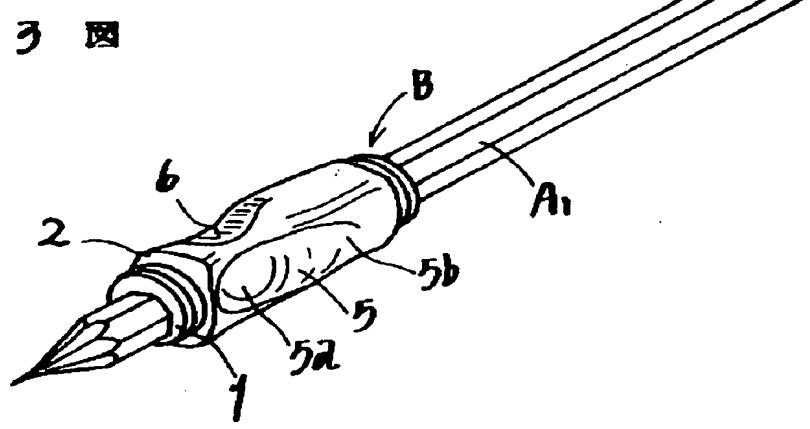
第 1 図



第 2 図



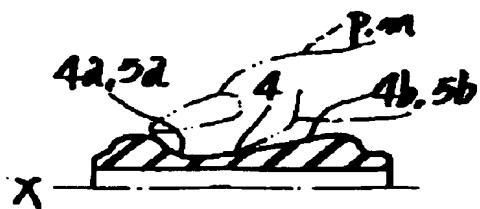
第 3 図



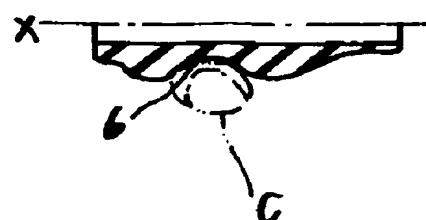
731

昭和 58-1750

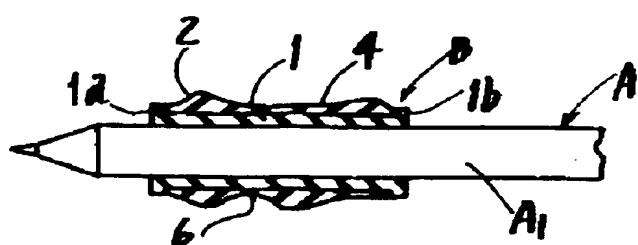
第4図



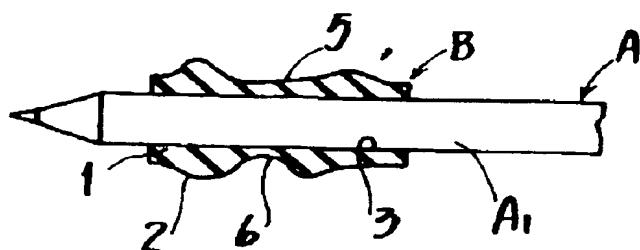
第5図



第6図



第7図

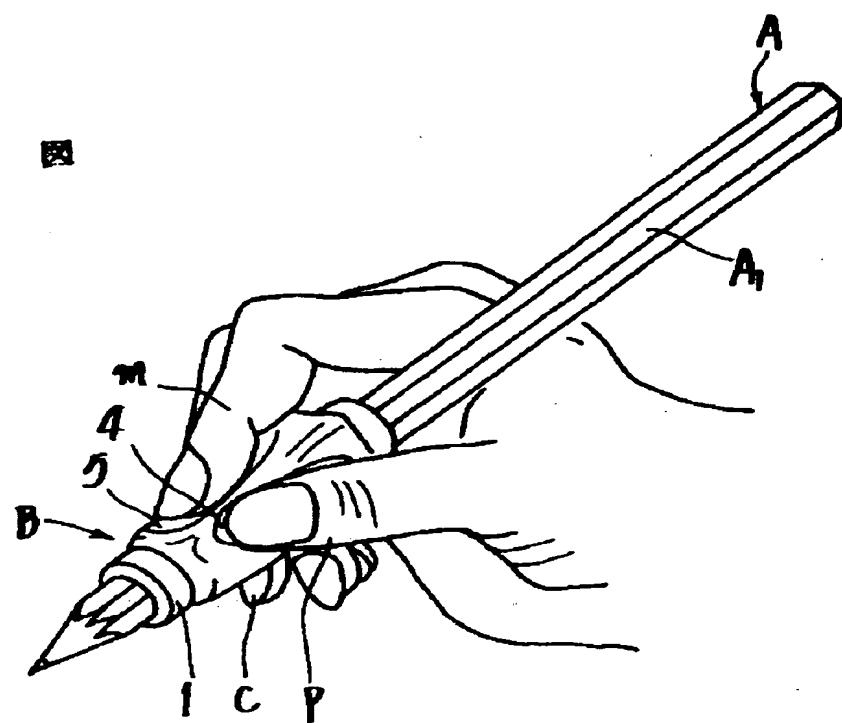


732

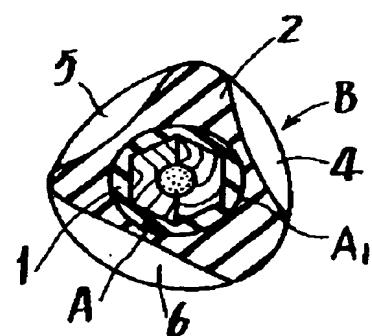
175001

実用新案登録出願人代理人 清脇忠司

第 8 図



第 9 図



7:

実用新案登録出願人代理人 溝脇忠司

実用新案登録出願人代理人 溝脇忠司

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.